

ひらつかの年中行事 ⑤

お盆のスナモリ

お盆はお正月と並ぶ二大年中行事です。平塚市の盆行事にもいろいろと興味深い風習があります。今回紹介するスナモリとは、家々の門口付近に土や砂で設えた小さな壇のことで、8月13日に作ります。土壇の材料、呼び方や形は地域や家によって様々です。材料は田の土、川砂、富士砂などを用います。とくに宝永4年(1707)の富士山噴火で降灰した黒砂で作るという家が少なくありません。しかし、開発等で畑が減り黒砂の採取は年々難しくなっています。

呼び名は、スナモリ、スナヤマ、フジサン、ボンヤマ、ツジなどがあり、フジサンと呼ぶ所では黒砂で富士山型に作ります。形は台形が一般的です。これをさらに高くして頂部が狭まる富士山型、扁平な四角型、変わった所では竹を数段に組んだ井桁型が市西部から秦野市にかけて見られます。最近では木箱などに土を盛って簡略化する家も増えています。

土壇にはオショロサン(ご先祖様)が上がるための階段をつけ、周囲に造花の盆花と季節の花を挿して飾ります。オショロサンの乗物としてナスとキュウリで作った牛馬を手前に置く家もあります。土段の上に里芋などの葉を敷き、そこにサイの目に切ったナスを乗せ、オショロサンへの供物とします。

あの世からやって来るご先祖様が迷わぬように、家ごとに毎年同じ形の土壇を設え、ご先祖様はここに上がって一服し、長旅の疲れをとってから家の精霊棚(盆棚)へ迎え入れられるといわれます。13日夕方にスナモリの付近で迎え火を焚き、16日に送り火をします。期間中の毎夕、隣近所のスナモリへお線香をあげに回る地域もあります。

平塚市では南部を除く広い範囲でスナモリを見ることができます。県内では三浦半島と県北以外に見られ、静岡県東部にも分布しています。富士山東方に広がるスナモリの分布域は、そのまま宝永噴火の降灰の範囲と重なります。富士砂を用い、富士山型に作ってフジサンと呼ぶことから、スナモリには富士山への信仰という意味合いも含まれていたのかもしれない。(平塚市博物館学芸担当)



井桁型(北金目)



富士砂で富士山型に作ったボンヤマ(北金目)



迎え火(北金目)



迎え火を線香に移し、スナヤマにあげる(上吉沢)

平塚市文化振興基金にご協力を!!

平塚市文化振興基金にご協力いただいた方(敬称略)
(平成22年1月から3月)

- 湘南ステーションビル平塚店名店会(1.29)
- 湘南ステーションビル株式会社(2.4)
- しんわ本人自治会連合会(2.24)

湘南ひらつか寄席
夏の怪談噺
人間国宝 一龍斎貞水 四谷怪談

8月28日(土) 開演/13:30
会場/平塚市民センターホール
入場料/全席指定 3,500円
出演/一龍斎貞水、三遊亭小遊三、林家木久蔵

●チケット販売 6月12日(土) 10:00から
●電話予約 6月15日(火) 8:30から

ファミリー劇場影絵 **ごんぎつね**
同時上演 **まばけリンゴ**
つのはえのうた

8月18日(水) 開演/14:00
会場/平塚市民センターホール
入場料/全席自由 おとな1,000円
子ども(中学生以下)500円 出演/劇団角笛

●チケット販売 6月20日(日) 10:00から
●電話予約 6月22日(火) 8:30から

発行 **平塚市(市民部 文化・交流課)**

〒254-0045 平塚市見附町15-1

ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/bunka/index.htm>

●お問い合わせ及び寄付金のお申し込み

TEL 0463-32-2235 FAX 0463-31-6466

*ご意見ご感想などお聞かせください。(今後の参考とさせていただきます)

ご意見等はEメールで E-mail bunkoh@city.hiratsuka.kanagawa.jp